



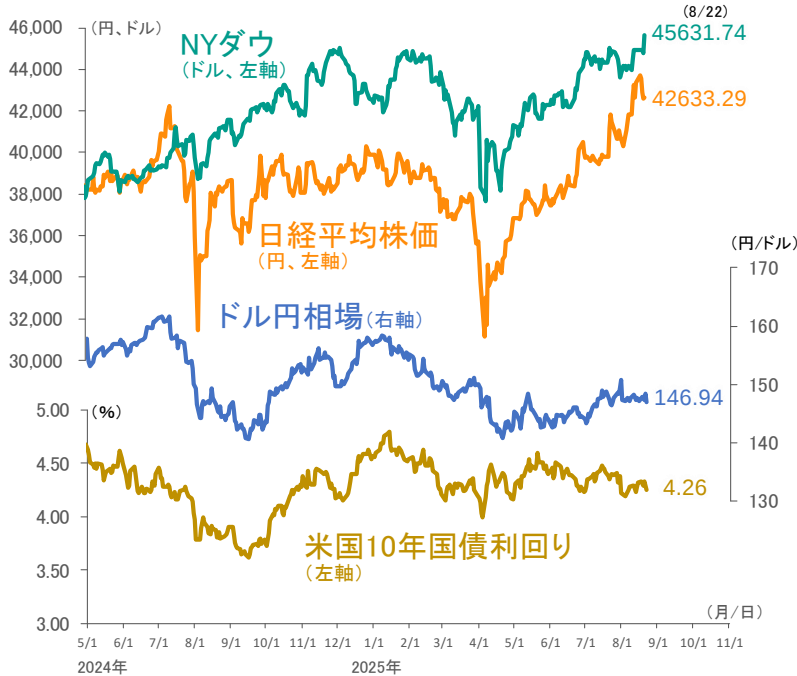
マーケット・レポート

Weekly Guide 2025.8.25

りそなグループのYouTube
で、最新のマーケット情報を
配信しております！



主要マーケット指標



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

先週は、週末のジャクソンホールでのパウエルFRB議長講演を前に様子見ムードが続きましたが、同講演で「9月利下げ再開」が示唆されたことから金曜日の海外市場では株高・債券高（利回り低下）となりました。NYダウは週間で1.5%上昇し昨年12月以来の最高値を更新、世界株価指数（MSCI ACWI）は同+0.4%（最高値更新）、ナスダック総合指数は同▲0.6%、日経平均株価は▲1.7%で終わりました。10年国債利回りは、米国が前週末比▲6bpの4.26%、独は同▲7bpの2.72%に低下する一方、日本は日銀の追加利上げ観測から同+5bpの1.63%と17年ぶりの高水準まで上昇しました。ドル円は引き続き147円台を中心に横ばい圏で推移しました。

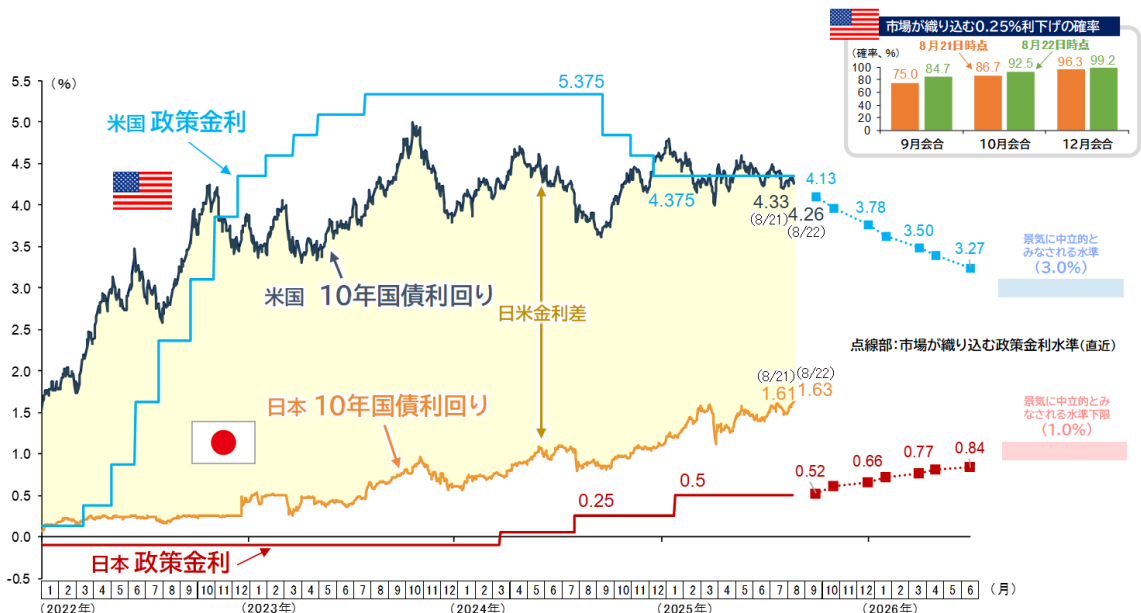
今週は、7月米PCEデフレーター、8月東京都部CPIが日米金融政策の方向性を再確認する材料となるほか、エヌビディア社の5-7月期決算発表でAI相場が再び動き付くか、注目されます。

当面の注目イベント

- ★独・8月IFO期待指数 (25日)
- ★米・7月コア資本財受注 (26日)
- ◆米・エヌビディア社 5-7月期決算発表 (27日)
- ◆日・8月消費者態度指数 (29日)
- ◆日・8月東京都部CPI (29日)
- ◆米・7月PCEデフレーター (29日)

★：りそな景気先行指数関連指標

ジャクソンホールでのパウエルFRB議長の講演（22日）を受け、市場では9月利下げ観測が高まりました。先物市場が織り込む9月FOMCで0.25%の利下げが決定される確率は前日の75.0%から84.7%に上昇しました



※2024年3月19日までは日銀当座預金金利、2024年3月21日以降は無担保コール翌日物（2024年7月30日までのグラフは中央値の0.05%を表示）

【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

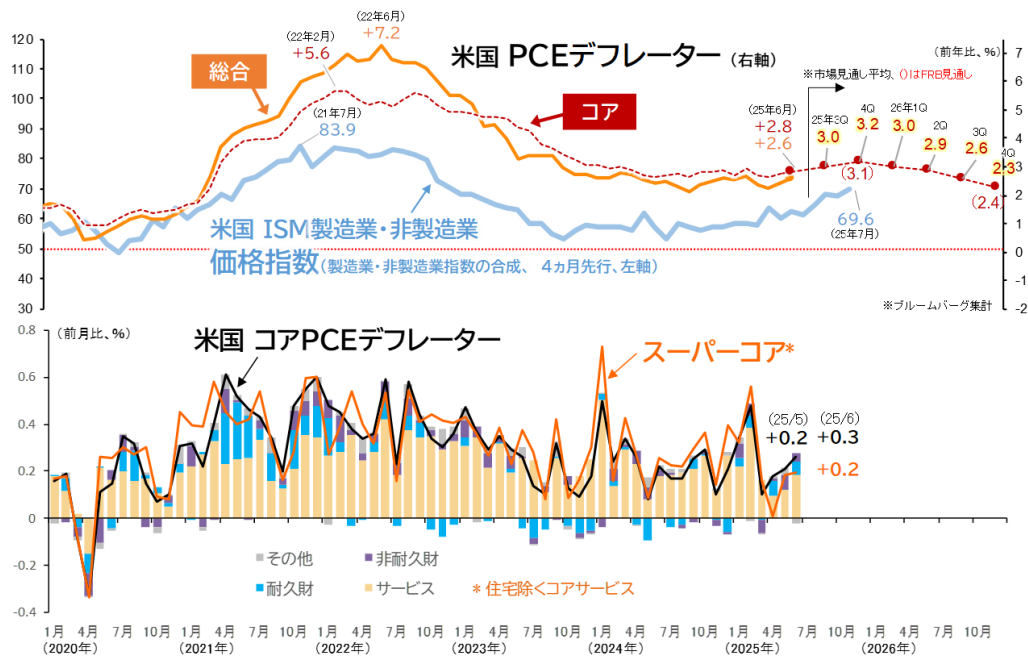
※最終ページの＜当資料に関するご留意事項＞を必ずご覧ください。



りそなアセットマネジメント

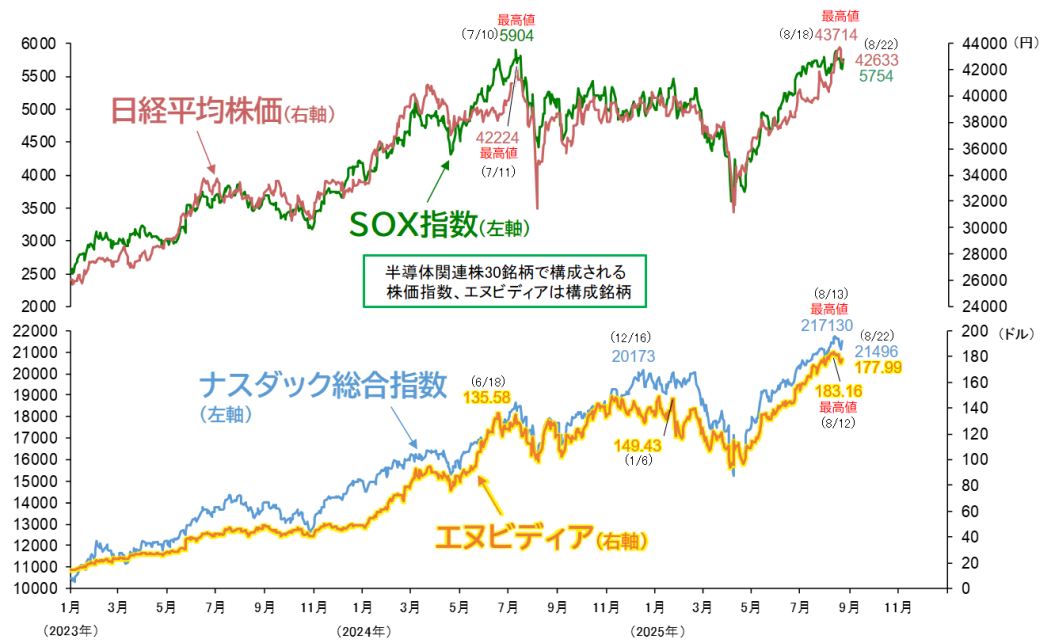
RESONA

7月コアPCEデフレーターは前月比+0.3% (6月+0.3%)、前年比+2.9% (同+2.8%) が予想されています。関税の影響が財価格上昇に表れる中、人件費を反映し易い住宅除くコアサービス価格が低位安定を続けるか注目されます



【出所】 Haver Analytics、ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

AI半導体製造大手エヌビディア社の5-7月期決算が27日に発表されます。同社株はAI相場の中核的存在で、その株価動向は、ナスダック総合指数、半導体SOX指数、日経平均株価の先導役として注目されています



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

次回は 2025年9月1日 発行予定です

〈当資料に関するご留意事項〉

■当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡しする「目論見書補完書面」を必ずご確認くださいのうえご自身でご判断ください。